

決意新たに 大人への第一歩

平成17年名和町成人式



「名和町」最後となる成人式が、1月9日、保健福祉センターでおこなわれました。今年の新成人は、昭和59年4月2日から昭和60年4月1日に生まれた96人（男性53人・女性43人）。式には、このうちの78人が出席しました。あいにくの寒波で朝から荒れ模様でしたが、色とりどりの振り袖に身を包んだ女性の姿も数多く見られ、会場は華やかな雰囲気になりました。

式ではまず山口町長が「成人の日は、大人になったことを自覚し、実社会を生き抜いていくとする若者を祝う日。自分さえ良ければいいという自己中心的な考え方をせず、自らの行動とその結果に責任をもてる人間になってほしい」と激励の言葉

を贈りました。これに対して、新成人を代表して権田充俊さん（御来屋港区）が「ここまで育ててくれた家族や周りの人に感謝の心を忘れず、それぞれの道を進んでいきたい。合併して名和町の名前はなくなっても、ふるさとを大切にしていきたい」と謝辞を述べました。

続いておこなわれた記念講演では、昨年に引き続き、ミオ・ファティリティ・クリニック院長の見尾保幸氏が「生命、そのかけがえない尊さを」と題して、最新の研究成果を交えながら、生命誕生の奇跡や若年層に広がる性感染症の危険性について話しました。

この中で見尾氏は「大切なのは、ひたむきさ・やさしさ・感謝の心。人の生命がどれだけ

多くの奇跡のもとに生まれているか、それがどれだけありがたいことなのかを考えて、他人に対しても思いやりを持ってほしい」と訴えました。

また、懇親会では、中学校卒業以来久しぶりに出会った友人たちと、近況を語り合ったり記念写真を撮ったり、にぎやかな時間を過ごしました。

20年前の出来事

今年の新成人のみなさんが生まれた昭和59年から60年は、どんな年だったのでしょうか。

20年前の主な出来事を紹介します。



中学校3年当時の担任の先生を囲んで、おしゃべりに花が咲きました（開式前ロビーで）



新成人代表で謝辞を述べる権田充俊さん



記念講演で生命誕生の奇跡を語る見尾保幸氏



新成人を代表して阪本茉莉さん（古御堂）に、山口町長から記念品が手渡されました



名和コーラス教室のみなさんと一緒に「名和町民歌」と「ふるさと」を歌いました



厳粛な面持ちで式典に臨む、新成人のみなさん。晴れ着姿がとても華やかでした



お互いの今後ますますの活躍を祈って「乾杯!!」



式典後の祝賀会。中学生の頃に戻ったように、にぎやかな楽しい時間を過ごしました



- 昭和59年
 - 4月 名和小学校神田分校、本校に統合
 - 7月 荒神谷遺跡から銅剣発掘
 - 9月 ロサンゼルス五輪開催
 - 長野県西部地震発生
 - グリコ事件の「かい人21面相」、森永製菓に脅迫状。
 - 10月 コアラ6匹が成田到着
 - 11月 インドのガンジー首相暗殺
 - 1万円札・5千円札・千円札発行
- 昭和60年
 - 2月 グリコ・森永事件の「かい人21面相」が犯行終結宣言
 - 県道松河原名和線、御富坂「開通」
 - 3月 青函トンネル本坑貫通
 - ソ連共産党ゴルバチョフ書記長就任
 - 「科学万博 つくば85」が筑波研究学園都市で開会
 - 日本人初のエイズ患者認定